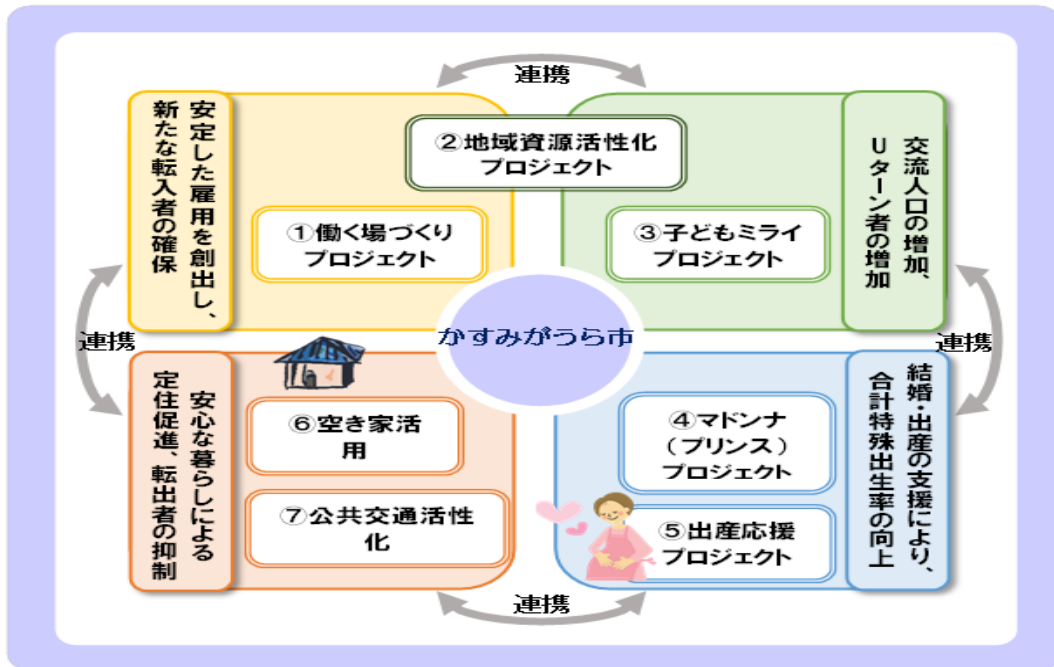


地方創生加速化交付金について

1. かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略

かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、下図のとおり 4 つの基本目標に対し、7 つの重点プロジェクトを位置づけ、これらのプロジェクトが連携し施策を推進することとしています。



この戦略に基づく取組みについて、国が創設した地方創生加速化交付金を活用し、先駆性を高めた施策としてレベルアップの加速化を図っていきます。

2. 地方創生加速化交付金 計画申請事業

(1) 水郷筑波・サイクリングによるまちづくりプロジェクト

【地方創生におけるサイクリングプログラムを核とした地域活性化 DMO 推進事業】

【関連プロジェクト ①②】

【概要】

交流センターを事業の拠点と新たな産業・雇用を生み出す重要箇所と位置付け、地域活性化につながる様々な事業を展開していきます。

事業の核をサイクリングプログラム事業とし、その他、飲食・マルシェ・6次産業・交流、さらには情報発信事業等を行う地域の活性化を目的とした事業法人の設立を行います。

設立にあたっては、民間が主体となり進めていきますが、地域全体の観光マーケティング・マネジメントを集約した DMO^(注) という観点から、金融機関、行政、大学、地域等が一体となり、個々の事業をパッケージ化した総合的プロデュース事業として展開していくことで、官民学金連携による事業の相乗効果を狙うものです。

(注) DMO 【 Destination Management/Marketing Organization 】

DMO とは、地域の観光のマネジメントとマーケティングを一体的に担う組織のこと。

【事業内容】

①地域資源を活用したサイクリングプログラム運営事業	19,815 千円
②地域の特産物を活かしたレストラン事業	14,500 千円
③フルーツなど地域資源を活用した6次産業化事業	7,400 千円
④地域内での交流を促進するシェアスペース運営事業	4,500 千円
⑤PR 並びに情報発信・広告宣伝、地域での雇用促進・人材育成事業	15,500 千円
⑥データ収集・分析	6,000 千円
事業費総額	67,715 千円

うち加速化交付金申請額 66,215 千円

※一部は法人設立に伴う創業支援助成を検討

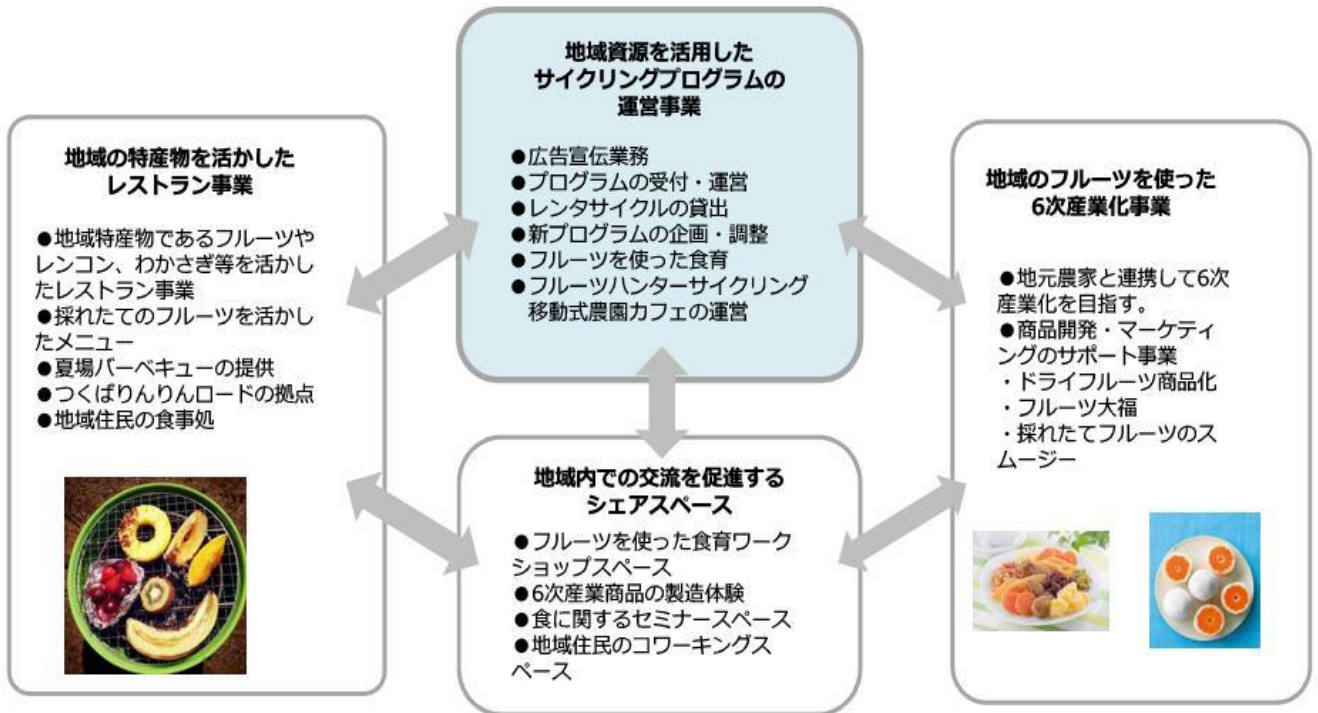
新会社の事業概要

＜新会社「X」の目的＞

サイクリングプログラムから派生した、
フルーツを核としたかすみがうらの地域資源を活かす様々な事業を展開し、
かすみがうら市の活性化を目的とした会社

事業の展開

サイクリングプログラムの運用を主軸としながら、地域資源の活用・地域での雇用の創出・地域産品を活かした産業化を実現するため、拡張性を持った事業展開をしていく。



レストラン事業

〈レストラン事業〉

かすみがうら市で収穫できるフルーツを中心に、特産品であるレンコン、霞ヶ浦のワカサギなど、地域産品を活かしたメニューを用意。

さらにお土産商品としてのドライフルーツやフルーツ餅なども生産。サイクリングプログラム拠点として、住民も楽しめるレストランとして、

また、夏はバーキューも提供できる施設として、

さらにはサテライトとして農園カフェを運営し、多くのお客さまに喜んで頂ける事業を目指す。



(2) 第2のふるさと・いばらきプロジェクト推進事業
[定住促進サポート事業]

【関連プロジェクト ①③④】

【概要】

結婚期にあたるタイミング世代（30代）を対象とした「同窓会」の開催に併せ、就職や創業の相談会や創業者の体験談の発表、創業支援制度の紹介などの情報提供を行い、進学や就職により首都圏等へ転出している若者のリターンの促進、また、参加者の帰郷、定住促進を図ります。

また、将来を担う子どもたちへ、市の現状や地方創生に向けた取組みについて学んでもらうことを目的とした教育プログラム（子どもミライプロジェクト）を企画・提供することで、地元に住んでいる時期に故郷の魅力や特徴等を学び、さらには地方創生に関する考え方や取組みを理解し、未来のまちづくりを考えられるスキルの醸成を図ります。

さらに、創業セミナーや創業啓発講演会を開催することにより、市民の創業意識を高め、創業支援事業を開催することで創業を応援する地域づくりを進め、雇用機会の拡大を図っていきます。

【事業内容】

① 同窓会と併せた同郷会（地場産業プラットフォーム）の開催事業	5,618千円
② 子どもミライプロジェクト	3,540千円
③ 創業支援事業	1,000千円
事業費総額	10,158千円
うち加速化交付金申請額	10,158千円

(3) 筑波山地域ジオパーク構想を活用した地域づくりの連携事業

【関連プロジェクト ②】

【概要】

筑波山地域ジオパーク構想に基づき、ジオパーク認定に向けた各種取組みを進めていくことで、地域の新たな価値創出を見出すとともに、筑波山や霞ヶ浦を含む大地の遺産の保護・保全、また、それらを用いた教育、そして広域的な周遊ルートの開発による観光振興を目指し、広域的な地域振興を図っていきます。具体的には筑波山地域ジオパーク推進協議会員である6市が連携し、観光客のニーズ分析に基づいた戦略的なマーケティングを進めるとともに、受入れ体制の整備や情報発信等の強化、新たな周遊ルートの開発を行います。

【事業内容】

① 業務委託	35,000千円
[調査分析・全体戦略の構築、プロモーション活動（PV、web、チラシ、アプリ）、旅行商品開発（周遊コース）、産物デザイン（統一されたロゴや買い物袋のデザイン）]	
② パンフレット作成費	5,000千円

事業費総額	40,000千円
うち加速化交付金申請額	5,000千円
(協議会への負担金として支出)	